

# ちゃーびらさい 会員紹介

108

さくだ内科クリニック  
佐久田朝功 先生

今回は、浦添市経塚で一昨年の11月に開院したさくだ内科クリニックを訪問して佐久田朝功先生にお話を伺いました。先生は県内で初めて深夜透析を始められて、そのことが新聞でも大きく報じられました。

## 先生の経歴についてお聞かせください

生まれは嘉手納町ですが、小学生の頃、浦添市に引越して来て育ちましたので地元と言えば浦添市です。高校は首里高校に入学し、その後、琉球大学医学部に進学しました。大学在学中は熱帯医学研究会という

サークルに所属し、アフリカ、インド、タイ、中国など海外の福祉施設を訪問し、偶然マザーテレサに出会ったこともありました。大学卒業後は、県立中部病院に研修医として勤務し、県立八重山病院、県立北部病院、県立那覇病院を経て開院に至りました。

## 医師を志した理由(きっかけ)、主な研究分野、診療分野は

当時は自分探しの旅みたいなのが流行っていて、何となく大学に進学しました

が、実は、医学部に入学した後、に学部先の先輩や同期に触れられ医師になりたいと考えるようになりました。その後、腎臓内科を中心に臨床一筋でやっています。

## 開業の動機、どうしてこの開業したのですか

長らく県立病院に勤務してきましたが、地域の救急医療を担うことが多く、患者さんとの関わりが短いと感じ、予防医学も含めて患者さんと長いスパンで関わっていける環境を求めて開業しました。また、自分が育った地元に戻りたいの思いで、この場所で開業しました。

## 診療で心がけていること、どのような医院を目指していますか

当院のHP上でも掲載していますが、「チムゲクルを大切にしている医療」を心がけています。WHOの健康の定義にスピリチュアルという言葉があり、それがチムゲクルに当てはまると考え、医療者自身が人間性を高め成長することにより、患者さんからも信頼され、患者さんの健やかな状態を保つていくために重要なことだと思っています。また、着想の自由さや想像力も大切にしている、深夜透析にしても新しい物を開発したわけではなく、既存の物で効率よくオプションを広げたというだけです。このような考えのもとで、一人ひとりがその人らしく元気に充実した毎日を過ごせるような医院を目指しています。

## 診療にあたって嬉しかったことや、苦労したことなどは

開院当初から長時間の透析を推進していますが、患者さん自身が納得してくれないことが多く、説得するのに苦労していました。でもある患者さんが長時間透析の効果を実感して、口コミで拡げてくれたおかげで今では多くの患者さんに長時間透析を受けてもらっており、とても嬉しいことです。あと、開院場所の土地調査などに時間がかかり、開院するのに3年以上待たされたことも大変でした(苦笑)

## 先生の趣味は、休日の過ごし方は

カードマジックにはまっていて、マジックのタネではなく、ふじいあきらさんなどのマジックの流れや技法に感心させられます。読書やアウトドアも大好きです。休日は体力回復(睡眠)に努めています(笑)

## 差し支えなければご家族の紹介を

医院の事務長をしている妻と、高校3年生の長女、高校1年生の長男、中学2年生の二女、小学6年生の三女の6人家族です。

## 保険医協会に対する要望や期待について

入会してまだ浅いので協会について分からないことが多く、これから会員の先輩方と交流を重ね、いろいろな情報を収集していきたいと思っています。

